

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

士別市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道士別市

3 地域再生計画の区域

北海道士別市の全域

4 地域再生計画の目標

本市は、北海道北部の中央に位置し、道立自然公園「天塩岳」をはじめとする山々や北海道第2の大河「天塩川」の源流域を有する水と緑豊かな田園都市であり、東西に 58 k m、南北に 42 k mに広がりを持ち、行政面積は 1,119.22 平方キロメートルを有しています。

本市の人口は、1960 年の 45,705 人をピークに減少し続け、2015 年には、同年から 25,791 人減少し、19,914 人となっています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、今後、本市の人口は急速に減少し、2060 年には 6,227 人になるものと推計されています。

本市では、高齢化が進み平均寿命は延びているものの、出生数が 2017 年から 100 人を下回り自然減が進んでいるほか、高校卒業後の進学先がないことや、本市の基幹産業である農業の衰退などにもともなう雇用機会の減少、若者の都市部への流出により、2018 年には、194 人の社会減となっています。

人口の減少によって、さらなる地域経済の衰退や担い手不足による遊休農地の発生、合宿における宿泊施設の整備・充実等の課題が生じます。

これらの課題に対応するために、機能的で持続可能なコンパクトなまちづ

くりや移住・定住、広域観光の強化、土づくりをはじめとする生産基盤の強化による持続可能な農業・農村づくり、官民一体となったスポーツ合宿の里づくり、オリンピックレガシーの活用等を前進させ、「関係人口の増加」や人口の自然増を促進し、社会減を抑制します。

なお、これらに取り組むにあたっては、次の事項を基本目標として掲げます。

- ・基本目標 1 時代に合ったまち、機能的で持続可能な“コンパクトタウン”をつくる
- ・基本目標 2 持続可能な足腰の強い農業・農村をつくる
- ・基本目標 3 合宿の聖地をめざして

【数値目標】

5－2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2026 年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	合計特殊出生率	1.36	1.50 (全国平均まで 引き上げる)	重点プロジェクト「まちの未来創造」
	交流人口	334,312 人	457,500 人	
イ	農家戸数	585 戸	481 戸	重点プロジェクト「農業未来都市創造」
	成雌めん羊飼養頭数	614 頭	883 頭	
ウ	合宿者数	24,223 人	24,700 人	重点プロジェクト

	招致チーム数	487 チーム	500 チーム	ト「合宿の聖地 創造」
--	--------	---------	---------	----------------

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

5－2 及び 5－3 のとおり。

5－2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

士別市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 時代に合ったまち、機能的で持続可能な“コンパクトタウン”をつくる事業

イ 持続可能な足腰の強い農業・農村をつくる事業

ウ 合宿の聖地をめざす事業

② 事業の内容

ア 時代に合ったまち、機能的で持続可能な“コンパクトタウン”をつくる事業

移住・定住や広域観光の視点の強化、本市の強みである6つのまちの個性（未来型農業実践のまち、サフォークランド士別、合宿の里、自動車等試験研究のまち、生涯学習のまち、水とみどりの里）を生かした取り組みや創意工夫を凝らした全国へのPR、

Society5.0 など新たな社会の流れのなかで、本市の地域性を生かした企業誘致や試験研究等、「関係人口」の創出・拡大を図るとともに、まちの未来を創造する事業。

※具体的な事業

「まちの地域力」推進事業／地域公共交通総合対策事業／中心市街地活性化事業／スポーツ合宿推進事業／移住定住促進事業／空き家対策事業／地域おこし協力隊活動事業／観光誘致宣伝活動推進事業／企業誘致事業／地域振興事業／駅舎・駅前広場再整備事業 等

イ 持続可能な足腰の強い農業・農村をつくる事業

農家戸数減少の抑制、農業の原点となる生産基盤の整備、担い手や労働力対策、サフォーク羊を生かした多面的な取り組み、社会経済環境の急激な変化にも耐えることができる、持続可能な農業・農村の未来をつくる事業。

※具体的な事業

農業農村整備事業／農業農村整備促進費活用事業／国営造成施設管理体制整備促進事業／中山間地域等直接支払交付金事業／多面的機能支払事業／環境保全型農業直接支援対策事業／経営所得安定対策推進事業／畜産担い手総合整備事業／農業農村担い手支援事業／6次産業化推進事業／めん羊振興事業 等

ウ 合宿の聖地をめざす事業

官民一体となったスポーツ合宿の里づくり、宿泊施設の整備・充実、美味しく・良質な食事提供、トレーニング環境の整備・充実、ステップアッププランをベースとした課題の解決など、官民が力を合わせた合宿の聖地づくりを進める事業。

※具体的な事業

スポーツ合宿推進事業／ホストタウン推進事業／「合宿の里土別」ステップアッププラン事業／市民スポーツ振興事業／総合型地域

スポーツクラブ推進補助事業／スポーツイベント開催事業 等

※なお、詳細は第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

604,000千円（2020年度～2026年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年6月に外部有識者会議（士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議）にて効果検証を行い、翌年度以降の取り組み方針を決定する。
検証後速やかに士別市公式ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2027年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2027年3月31日まで